

2017年度 財務諸表に対する注記（法人全体）

1, 継続事業の前提に関する注記

なし

2, 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価法

- ・有価証券は、移動平均法に基づく原価法により評価する。
- ・満期保有目的の債券以外の有価証券のうち、市場価格のあるものについては、前項の規定にかかわらず、会計年度末における時価をもって評価する。

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ・固定資産の減価償却については定額法によって行う。

(3) 引当金の計上

- ・退職給付引当金
北海道民間社会福祉事業職員共済会の規約によって計上する
- ・賞与引当金
該会計年度の負担に属する額を見積り、賞与引当金として計上する。

3, 重要な会計方針の変更

- ・2013年4月1日より社会福祉法人新会計基準に準拠して会計処理を行っている。
- ・2015年6月デイサービスセンターあけのわ 廃止
- ・2015年7月デイサービスセンターかりぶ 旧デイあけのわへ移動
(デイあけのわ分 えみな建物の22%分をデイかりぶへ移動)
 - ・固定資産の移動
 - ・固定負債の移動
 - ・国庫補助積立金の移動
- ・2016年2月介護予防センターを特養(旧デイかりぶ事務室)へ移動
(旧デイかりぶ分を特養へ移動、特養0.5%分を介護予防センターへ移動)
- ・2016年5月ヘルパーステーションかりぶとヘルパーステーションかえでを統合し、ヘルパーステーションかえでとする。
 - ・固定資産の移動
 - ・固定負債の移動

4, 法人で採用する退職金制度

- ・独立行政法人福祉医療機構退職手当共済制度
- ・北海道民間社会福祉事業職員共済会退職年金事業
- ・確定給付企業年金制度
- ・民医連退職慰労会

5, 法人が作成する財務諸表と拠点区分、サービス区分

・財務諸表

(1) 資金収支計算書及びこれに付属する資金収支内訳書

様式1号の1様式、様式1号の2様式、様式1号の3様式、様式1号の4様式

(2) 事業活動計算書及びこれに付属する事業活動内訳書

様式2号の1様式、様式2号の2様式、様式2号の3様式、様式2号の4様式

(3) 貸借対照表及びこれに付属する貸借対照表内訳表

様式3号の1様式、様式3号の2様式、様式3号の3様式、様式第3号の4様式

(4) 財産目録

(5) 拠点区分事業活動明細書

・拠点区分、サービス区分

(1) 社会福祉事業区分

①法人本部拠点区分

ア 法人本部

②かりぶ・あつべつ拠点区分

ア 特別養護老人ホームかりぶ・あつべつ

イ 特別養護老人ホームかりぶ・あつべつ ショートステイ

ウ 特別養護老人ホームかりぶ・あつべつ 医務室

エ デイサービスセンターかりぶ

オ 訪問看護ステーションかりぶ

カ 居宅介護支援事業所かりぶ

キ 生活支援事業

③かりぶ・もみじ台

ア ショートステイメイプルハウス

イ デイサービスもみじの家

エ 居宅支援事業所メイプル

オ ヘルパーステーションかえで

④かりぶ・上野幌

ア デイサービスのののか

イ 小規模多機能ホームかりぶ

2) 公益事業

①かりぶ・上野幌

ア ぼろか

②支援ハウスえみな

ア 介護予防センター

イ えみな

6, 基本財産の増減内容及び金額

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	460,276,622		66,000,000	394,276,622
建物	746,846,913	2,106,000	209,442,971	539,509,942

・ケアセンター上野幌(公益) サービス付き高齢者向け住宅ぼろかの基本財産をその他固定資産へ移動

7, 会計基準第3章第4(4)及び(6)の規程による基本金または国庫補助金など特別取崩しなし

8, 担保にしている資産

担保に提供している資産は以下のとおりである。

土地(厚別中央五条六丁目5-2)(特養かりぶ・あつべつ) 242,190,000円

土地(厚別中央五条六丁目5-1) 118,726,622円

土地（上野幌一条二丁目 1012-7）（上野幌）	66,000,000円
建物（特別養護老人ホームかりふ・あつべつ）	242,859,270円
建物（高齢者支援ハウスえみな）	153,047,670円

9、固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本財産）	1,251,699,074	712,189,132	539,509,942
建物（その他）	226,592,235	58,350,690	168,241,545
構築物	30,783,051	25,664,207	5,118,844
機械及び装置	2,333,280	2,333,276	4
車両運搬具	73,351,672	60,500,915	12,850,757
器具及び備品	60,001,916	49,181,216	10,820,700
無形固定資産	538,398	538,398	0
ソフトウェア	7,530,847	4,952,155	2,578,692
合計	1,652,830,473	913,709,989	739,120,484

10、債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

なし

11、満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損

なし

12、関連当事者との取引内容

なし

13、重要な偶発債務

なし

14、重要な後発債務

なし

15、その他社会福祉法人の資金及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

(1) 今年度の消費税額は 1,463 千円となり租税公課として計上しています。

(2) 事業外収益に札幌市からの借入金利息補助 410 千円を計上しています。

(3) 事業外収益に職場定着支援助成金 2,127 千円を計上しています。

(4) 特別収益に、車両入替にともなう車両の売却によって 49 千円を固定資産売却益として計上しています。

(5) 特別費用にストレッチャー式入浴装置等の入替にともなう固定資産の処分によって 231 千円を固定資産処分損として計上しています。

(6) 長期借入金は独立行政法人福祉医療機構からの借入れで以下の内訳となっています。

設備資金借入金

生活支援ハウスえみなの建設（2002年2月借入）

総額1億3千3百万円 元金返済累計 13,272 万円 借入残高 2,800 万円

長期運営借入金

サービス付き高齢者向け住宅ぽろかの建設（2011年 月借入）

福祉医療機構より 4,000 万円 元金返済累計 1,038 万円 借入残高 2,962 万円

北洋銀行より 8,000 万円 元金返済累計 7,723 万円 借入残高 2,764 万円

(5) 協同基金は貸借対照表では「他の固定負債」と表示し 2017 年度決算残高は 1,566 万円
で、差し引き 80 万円減少（返済）しました。 以上